

発言者	内容
司会（会長）	理科の教科用図書について協議する。 東京書籍について、いかがか。
委員	安全面の記述がある。 「問題をつかもう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「実験・観察」「考察しよう」という流れになっている。 天体において、写真等の資料があることは重要であるため、写真が多くあるのはよい。 デジタルコンテンツが豊富でよい。
委員	実験に関して、危ないことの記述がされていてよい。 6年の唾液の実験では、綿棒とポリ袋を使用する配慮がされている。
委員	どの教科書もよくできている。
司会（会長）	考察する部分が目立つ工夫がある。 巻末にも道具の使い方等、まとめられている。 危険なところも目立たせる工夫がある。
司会（会長）	大日本図書については、いかがか。
委員	内容的には、よくまとめられている。
委員	6年の唾液の実験では、直接ストローで流し込むのは、子どもたちにとって抵抗感があると感じる。 教科書のサイズが大きい。 内容については、よく考えられている。 字の大きさ、字間は見やすい。
委員	教科書が分厚くて大きいのは、いかがか。
司会（会長）	内容は、工夫されていてよい。 安全についても、配慮されている。
司会（会長）	学校図書については、いかがか。
委員	パッと見たときに、少し見にくいように感じる。 6年の唾液の実験では、直接ストローで流し込むのは、子どもたちにとって抵抗感があると感じる。

委員	実験と結果が同ページや見開きページに掲載されているところがあるため、実験方法を確認する際に、児童が結果を目にしてしまうところがあると感じる。
委員	明朝体が使用されており、やや見にくい。
司会（会長）	5年の「ふりこの実験」の部分では、見開きで考察する部分と結果が同時にわかるのは、いかがなものか。 条件制御の学習は、子どもの過去の栽培経験などから考えることができる発芽実験から始まる方が学習しやすい。 「雲と天気の変化」の学習の前に「台風の接近」の学習があるが、学習の流れが逆の方がわかりやすい。
司会（会長）	教育出版については、いかがか。
委員	安全の部分の表記がやや少ない。
委員	図が大きく、写真も見やすい。
委員	二次元コードがやや少ない。
司会（会長）	二次元コードは、子どもたちが自分で学ぶ個別最適な学びにつながるため、多いほうがよい。
司会（会長）	人体の部分では、イラストがすごく工夫されている。 学び合いのための言葉が具体的に掲載されており、とてもよい。 6年「水溶液の性質」では、塩酸で溶かす金属がアルミニウムのみであるため、比較することができない。
司会（会長）	啓林館については、いかがか。
委員	教科書のサイズが少し小さめで、使いやすい。
委員	実験の説明が、植物や天体の様子など、実際の写真で示されているのがよい。 6年の唾液の実験は、綿棒を使用するようになっており、配慮されている。
委員	シンプルでわかりやすい反面、子どもたちの興味を引きにくい。
司会（会長）	コンテンツが充実している。 ふり返りやまとめが、深い学びにつながるようになっている。 塩酸の実験では、鉄とアルミニウムが比較できる。 「活用しよう」では、思考を深める工夫がされている。
司会（会長）	総括すると、啓林館を1番に推薦し、東京書籍を2番に推薦してよいか。

委員	異議なし。
----	-------